

SC-17. プラグ、そしてバンプ

横浜シャフルボード協会

“Fun with plug and bump” by Lary Faris

抄訳: 薩川俊三

相手がセントピートで口火を切る。トーナメントでは、標準的なカウンターで応じる。即ち、同点やリードしている時はセントピートをクリアし、リードされている時はボード上にキッチン・ベイトの得点ディスクを置く。しかしファンゲームでは、「プラグ、そしてバンプ」を使い、ボードプレーを楽しむことができる。

「プラグ、そしてバンプ」は、ディスクを対戦相手のセントピートと 10 エリアの頂点との間に置いて、セントピートに反撃するものだ。これはセントピートの背後に得点しようとする対戦相手のルートをブロック即ちプラグし（ふさいで）、次のショットで、そのプラグ・ディスクを、バンプ（突いて）して、8 得点を隠そうとする。

チェスと同様に、シャフルボードには標準的な開始と対応がある。この「プラグ、そしてバンプ」は、標準的なボード・クリアの対応よりも、好機も危険も多いものだ。

効果的な「プラグ、そしてバンプ」をする秘訣は、プラグ・ディスクを正確に良い場所に置くことだ。それを検討する。

- (1) セントピートと 10 の頂点との間のエリアの真ん中にプラグを置く（図 1、ディスク A）。これは対戦相手に 7 エリアに入り込んで隠れるチャンスを残している。特にドリフトがある時だ。
- (2) プラグ・ディスクを 10 の頂点のごく近くに置く（図 2、ディスク B）と、すぐあとのバンプショットに問題を生じる。このプラグ・ディスクの中心をバンプすると、そのディスクは 8/8 ライン上に止まってしまう。8 得点するように中心の僅か左をバンプすると、バンプをしたシュートディスクが左方向に滑るので、8 得点はカバーされない。
- (3) プラグを置くベストの場所は、10 の頂点から約 2 インチ（5cm）セントピート寄りだ（図 3、ディスク C）。これは対戦相手が隠すルートをふさぎ、あとで効果的なバンプショットが可能だ。
- (4) 覚えておくべきもう一つは、プラグ・ディスクを相手のセントピートを少し過ぎた所に置くことだ（図 4、ディスク D）。これはプラグ・ディスクをバンプするのを容易にし、対戦相手がセントピートをバンプして得点するのを難しくする。

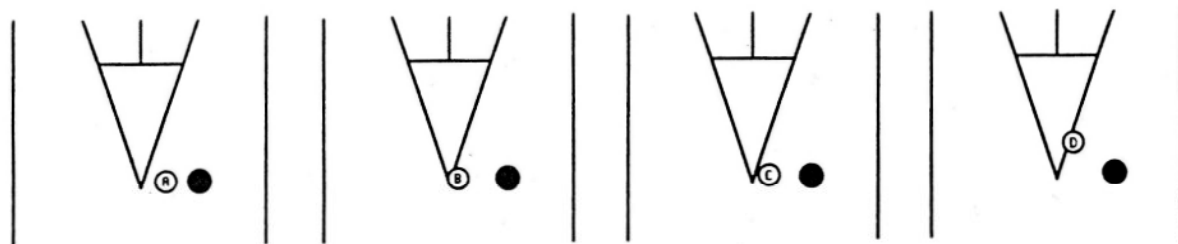


図 1

図 2

図 3

図 4